

SDA●AWARD

第59回 日本サインデザイン賞 応募のご案内

募集期間

2025. 4.1(火) – 5.30(金)



<https://www.sda-award.org>

SDA●
Japan Sign Design Association

主催
公益社団法人日本サインデザイン協会
email : info@sda-award.org

目次

開催案内

日本サインデザイン賞とは-----	01
年間スケジュール、対象作品、贈賞-----	02
審査員、審査基準-----	03
応募から受賞までの流れ-----	04
応募料・受賞後の費用-----	06
応募についての注意事項-----	07

応募登録ガイド

応募者・作品情報の登録-----	08
分類選択について-----	11
画像・映像データの登録-----	12
関係者の登録-----	14
登録の確認-----	15
支払・完了-----	16

資料 [要綱・要領]

日本サインデザイン賞実施要綱-----	17
日本サインデザイン賞応募要領-----	19
日本サインデザイン賞審査要領-----	21

開催案内

日本サインデザイン賞とは

公益社団法人日本サインデザイン協会（以下SDA）が主催する日本サインデザイン賞（通称SDA賞）は、優れたサインデザイン作品を広く社会にアピールすることにより、サインデザインの普及および啓発を図ることを目的として、1966年以来続けられてきた日本で唯一のサインデザインを対象とした顕彰事業です。

サインデザイン (Sign Design) とは、複雑化する身の回りの環境を、より分かりやすく魅力的にするために、「人に伝える情報」を整え、かたちづくる創造行為です。コミュニケーションを成立させるためになくてはならない情報として位置づけられ、そのデザインは多様な広がりを見せています。

SDAはSDA賞の審査を通じて質の高いサインデザインを評価し、サインデザインの価値や役割を多くの人と共有し、社会活動に寄与することを使命としています。

皆さまの積極的なご応募をお待ちしております。

公益社団法人日本サインデザイン協会
会長 竹内誠

■主催

- ・公益社団法人日本サインデザイン協会

■後援（予定）

- ・経済産業省
- ・公益財団法人日本デザイン振興会
- ・日本商工会議所
- ・日本経済新聞社
- ・一般社団法人日本屋外広告業団体連合会
- ・一般社団法人日本空間デザイン協会
- ・一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会
- ・一般社団法人日本商環境デザイン協会
- ・公益社団法人日本サイン協会
- ・公益社団法人商業施設技術団体連合会
- ・一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会
- ・公益社団法人全日本広告連盟
- ・公益社団法人日本アドバタイザーズ協会
- ・公益社団法人日本グラフィックデザイン協会
- ・公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会
- ・特定非営利活動法人日本タイポグラフィ協会（順不同）

年間スケジュール

募集期間	4月1日(火) 5月30日(金) 24:00	応募受付開始 受付締切
一次審査	6月6日(金)～15日(日) 6月18日(水)	一次審査期間 一次審査通過者に通知
二次審査	6月20日(金)	二次審査会
最終審査	7月5日(土) 7月10日(木)	最終審査会・特別賞選考会 入賞者に通知
地区賞審査	7月11日(金)～21日(月)	地区賞審査期間
受賞発表	9月初旬 12月5日(金) 12月初旬	審査結果公式発表 贈賞式 SDA ウェブサイトでの公開

対象作品

国内外を問わず

2024(令和6)年5月1日から2025(令和7)年4月30日までに完成したサイン

贈賞

審査により、下記の賞が贈賞されます。

日本サインデザイン大賞・経済産業大臣賞(予定):1作品(賞状・トロフィー)

日本サインデザイン金賞:4作品(賞状・トロフィー)

日本サインデザイン銀賞:15作品(賞状・トロフィー)

日本サインデザイン銅賞:30作品(賞状)

日本サインデザイン招待審査員賞:招待審査員の推薦による各1作品(賞状・トロフィー)

日本サインデザイン賞入選:100作品(賞状)

*入賞(大賞・金賞・銀賞・銅賞)及び入選の作品数については最終審査会で決定します。

日本サインデザイン特別賞・公益財団法人日本デザイン振興会会長賞:2点以内(賞状)

地区デザイン賞(SDA全国9地区が地区内の作品を選出):各地区5作品以内(賞状)

審査員

審査員は下記により構成されます。

一次審査員

審査員長：日本サインデザイン協会会長

竹内 誠…株式会社竹内デザイン 代表取締役

SDA審査員：SDA会員の中から選任された審査員

渡辺 太郎…エモーショナルスペースデザイン代表 アートディレクター

山田 晃三…月影デザインコンサルティング代表 デザインコンサルタント

廣村 正彰…廣村デザイン事務所 代表取締役 グラフィックデザイナー

平手 健一…有限会社寺田平手設計 取締役社長

平野 湊太郎…有限会社平野湊太郎デザイン研究所 代表取締役 デザインディレクター

地区審査員：SDA各地区（北海道・東北・関東・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄）理事（代表幹事）並びに

各地区代表幹事が選出した審査員各1名

二次審査員

審査員長：SDA会長

SDA審査員：一次審査に同じ

最終審査員

審査員長：SDA会長

招待審査員：

経済産業省 商務・サービスグループ デザイン政策室 室長

ポー・リンネマン…コントラプンクト クリエイティブディレクター

小林 章…モノタイプ社 クリエイティブタイプディレクター

手塚 由比…株式会社手塚建築研究所 代表取締役

花澤 裕二…日経デザイン 編集委員

吉泉 聡…TAKT PROJECT 代表

折原 美紀…株式会社ODO(オド) 代表取締役 デザイナー

SDA審査員：一次審査に同じ

特別賞審査員

審査員長：SDA会長

招待審査員：公益財団法人日本デザイン振興会理事長

SDA審査員：一次審査に同じ

審査基準

社会性：景観や環境との調和、持続性など社会的意義や効果について評価する。

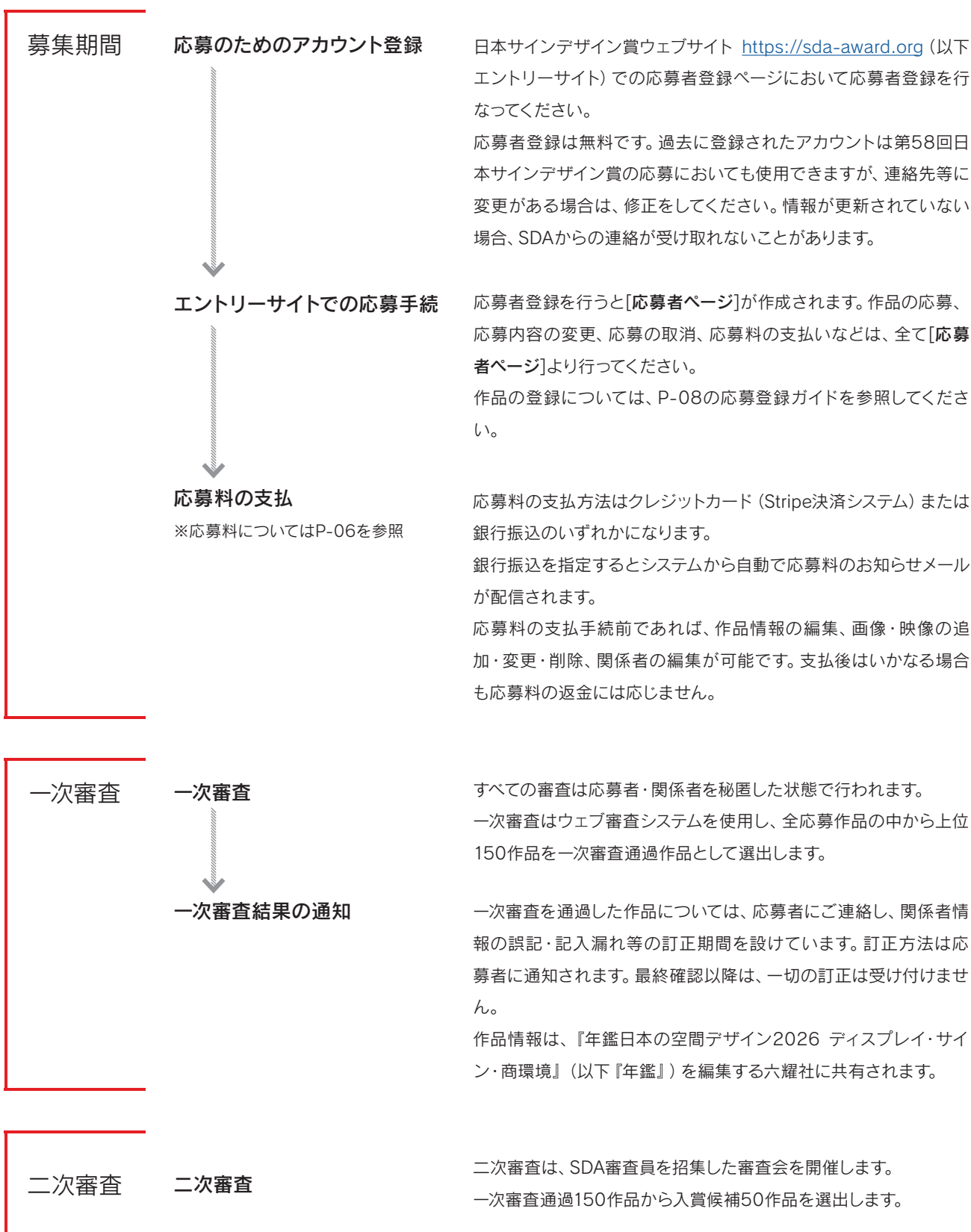
情報性：発信者の意図が伝わり、適切なコミュニケーションが図れているかを評価する。

先進性：発想、製作、プロセス等においてこれまでにない新しい取り組みを評価する。

審美性：造形、素材、表現において作品の美しさを評価する。

上記4項目に加えて、応募作品には安全性への配慮が求められます。

応募から受賞までの流れ



<p>最終審査</p>	<p>最終審査</p> <p>↓</p> <p>最終審査結果の通知</p> <p>↓</p> <p>最終審査結果の公式発表</p>	<p>最終審査は審査員を招集した会場での審査会を開催します。 二次審査で選出された入賞候補50作品について、大賞・金賞・銀賞・銅賞の選定のための討議を行い、合議によって各賞を確定します。</p> <p>審査会開催場所：東京ミッドタウン・デザインハブ インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター（予定）</p> <p>審査会は公開で行います。見学を希望する場合は、SDA事務局にお問合せください。</p> <p>入賞作品の応募者にご連絡します。その後に『年鑑』を編集する六耀社より応募画像（高解像度版）提供についての依頼がありますのでご協力ください。</p> <p>発表は9月初旬（予定）に、SDAウェブサイトで公開すると共に応募者全員にご連絡します。 発表前の問い合わせ等には一切応じられません。</p>
<p>受賞後</p>	<p>賞状・トロフィーの申込</p> <p>贈賞式の開催</p> <p>作品集、年鑑の発行</p> <p>作品の広報</p>	<p>受賞者は、規程の賞状・トロフィーの他、追加（有償）を申し込むことができます。申込方法や費用は受賞のご連絡時にご案内します。</p> <p>12月5日に贈賞式を開催する予定です。 日時や場所については、受賞者にご案内します。</p> <p>受賞作品を掲載した『第59回日本サインデザイン賞作品集』（以下『作品集』）をSDAより発行します。受賞作品ごとに、作品代表者及びクライアントに贈呈する他、追加での購入が可能です。 六耀社発行の『年鑑』には入賞作品が本文ページに、入選作品は作品一覧として掲載されます。</p> <p>結果発表以降は、受賞作品について自社のウェブサイトや広報にご利用ください。SDA並びに日本サインデザイン賞のロゴデータを使う場合は、SDA事務局までお問合せください。</p>

応募料・受賞後の費用

応募料

応募料は、1作品につき¥11,000（本体¥10,000+消費税¥1,000）です。

応募料にはデザイン意図（コンセプト）と2点の画像データの審査料を含みます。

3点以上の画像データを提出する場合、1点につき¥1,650（本体¥1,500+消費税¥150）の追加審査料が加算されます。

映像データを提出する場合、1点につき¥16,500（本体¥15,000+消費税¥1,500）の追加審査料が加算されます。すべての応募料、審査料には消費税10%がかかります。

例) 画像3点+映像1点の場合

¥10,000+¥1,500+¥15,000=¥26,500 + 消費税10% ¥2,650 =¥29,150

応募料は支払手続後に自動計算されます。支払手続前であれば、作品情報の編集、画像・映像の追加・変更・削除、関係者の編集が可能です。

賞状

受賞作品の作品代表者とクライアントおのおのに賞状を授与いたします。応募時に関係者として登録された方に限り追加の賞状のお申込が可能です。追加作成費用は1枚につき¥4,400（本体¥4,000+消費税¥400）です。申込方法については受賞作品の応募者にご連絡します。

トロフィー

金賞・銀賞・招待審査員賞の各受賞作品の作品代表者にトロフィーを授与いたします。応募時に関係者として登録された方に限り追加のトロフィーのお申込が可能です。追加作成費用は一基につき¥33,000（本体¥30,000+消費税¥3,000）、授与と同じ表記の場合は一基につき¥27,500（本体¥25,000+消費税¥2,500）です。申込方法については受賞作品の応募者にご連絡します。

大賞・経済産業大臣賞のトロフィーの追加作成はできません。

贈賞式

入賞（大賞・金賞・銀賞・銅賞・招待審査員賞）の受賞者に、贈賞式のご案内を送付します。期日までに出席のご連絡をお願いします。交流会が開催される場合の参加費用については、贈賞式のご案内と共にお知らせします。

刊行物

『第58回日本サインデザイン賞作品集』

受賞作品の作品代表者とクライアントおのおのにSDA発行の『作品集』を贈呈します。追加のご購入が可能です。申込方法・価格については応募者にご連絡するほか、SDAウェブサイト等でご案内します。

『年鑑日本の空間デザイン2026 ディスプレイ・サイン・商環境』六耀社

SDAでは特別価格にて販売しております。申込方法・価格については応募者にご連絡するほか、SDAウェブサイト等でご案内します。

応募についての注意事項

□二重応募の回避

応募者は二重応募（同一の作品を複数の応募者が応募すること）のないよう、事前に各関係者間で調整を図ってください。ただし、同一の施設であっても異なる視点からデザインされた場合には、同一のあるいは、異なる応募者が応募することは認められます。

□応募者の責任に帰する事項

応募された全ての資料の著作権、画像使用权、出版権、工業所有権については応募者が責任を持って処遇・管理してください。なお、これらの許諾を得られない場合、受賞作品であってもSDAウェブサイト、『作品集』、『年鑑』に掲載することができません。「関係者」として撮影者の登録がない場合は、著作者の氏名表示を不要とするものとみなします。また、写真使用料については、応募者と撮影者との間で解決した上で応募してください。

日本サインデザイン賞の応募対象に関する意匠権等の知的財産権、品質、性能、安全性等の要件及びその販売、施工等に関して生じた問題の責任については、応募者が負うものとし、主催者はその一切の責任を負いません。

日本サインデザイン賞への応募により、応募者、受賞者あるいはその他の第三者の間で生じた紛争については、主催者はその一切の責任を負いません。

□応募の取り下げ及び失格

応募登録後、応募料が支払われない場合は、応募の取り下げとみなします。

また、応募者が「応募登録ガイド」並びに「日本サインデザイン賞応募要領」に定める事項に違反した場合、主催者はその応募を失格とします。

□受賞の取り消し

受賞者が、受賞発表後に「日本サインデザイン賞実施要綱」並びに「日本サインデザイン賞応募要領」に定める事項に違反した場合、主催者はその受賞を取り消します。

また、受賞作品について、下記のような事実が判明した場合、主催者はその受賞を取り消すことができます。

- ・受賞作品が、その機能的欠陥等から社会的に著しい損害を与えた場合。
- ・受賞作品が、他者の意匠権等の知的財産権を侵害していると公に認められた場合。

- ・受賞者及び受賞作品に暴力団等の反社会的勢力に関係する個人、法人及び団体等が関連している場合。

□個人情報保護に対する取り組み

SDAは個人情報取扱事業者としての義務を守り、運営に係る全ての個人情報を、以下のとおり取り扱います。

- ・個人情報の提供を受ける場合には、本人にその個人情報の利用目的をお知らせし、同意をいただきます。また、提供を受けた個人情報の利用に際しては、本人から同意をいただいた利用目的の範囲内で適切に行います。
- ・本人から同意をいただいた場合及び法令に基づき司法機関、行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合を除きご提供いただいた個人情報を第三者に預託、提供することはいたしません。
- ・内容が事実でないことを理由として本人の個人情報の削除、変更、修正の連絡があった場合は、遅滞なく必要な調査を行い、その結果に基づき、合理的な期間内に情報を修正し、維持・改善・管理します。
- ・個人情報の取り扱いに十分注意を払い、役員・運営委員、委員会や地区事業などの会務を担当する正会員及び事務職員に徹底します。

□個人情報の利用目的

- ・日本サインデザイン賞応募登録者の個人情報について登録内容の確認
- ・応募された作品及び応募料決済、審査結果に関しての連絡
- ・贈賞式の案内
- ・SDA事業に関するEメールの送信
- ・その他日本サインデザイン賞運営に関する必要な範囲での利用

応募登録ガイド

応募に際して登録が必要な項目の一覧になります。

一度登録した内容は変更できませんので、正式名称で登録し、誤記のないように注意してください。

文字数制限については、日本語の場合は、スペース、約物、記号すべてを全角1文字として含みます。英文の場合は、半角1文字ずつを文字数として扱います。

審査時には、作品名、作品の分類と共に審査資料として、デザイン意図、画像・映像のみが審査員に公開されます。

審査資料の中には、応募作品に含まれる場合を除き、応募者名・作品制作関係者名は、これらを想起させるロゴマーク等を含み、一切表示しないでください。違反した作品は、失格処分とする場合があります。

① 応募者の登録

日本サインデザイン賞ウェブサイト <https://sda-award.org> (以下エントリーサイト) で応募者登録をしてください。登録が完了すると、あなたの[応募者ページ]が作成されます。ログインパスワードは支払手続まで大切に保管してください。

[応募者ページ]から、複数の作品に応募できます。



② 作品情報の登録

[応募者ページ]から[作品登録]ボタンをクリックすると登録画面が表示されます。登録する項目は、作品代表者、作品名(プロジェクト名)、作品が設置された施設の正式名称、作品所在地、完成年月、作品の分類、デザイン意図になります。



作品代表者

受賞した場合、作品代表者が受賞者になります。作品のデザイン制作に携わった代表者1名を登録してください。連名は受け付けていません。連名で記入した場合は、先頭のみを受け付けます。

原則として所属（会社名・法人名・屋号等）+氏名を登録してください。所属の入力欄には、支店や所属部署、役職は記入しないでください。法人名のみ登録は可能です。

- ・和文表記（漢字）
- ・英文表記（英字）

作品代表者 審査時非公開	
<small>① 作品のデザイン制作に携わった代表者1名。受賞した場合の「受賞者代表」となります。</small>	
	作品代表者について
氏名（漢字）	<input type="text"/>
氏名（英字）	<input type="text"/>
所属（漢字）	<small>例：株式会社〇〇〇〇</small> <small>法人格（株式会社 有限会社 合資会社 公益社団法人 一般社団法人 学校法人 など）がある場合は必ず含める</small>
所属（英字）	<input type="text"/>

作品名（プロジェクト名）

- ・和文表記（漢字・カナ）
- ・英文表記（英字）

施設正式名称

作品が設置された施設の正式名称（固有名称）

- ・和文表記（漢字）
- ・英文表記（英字）

※作品名に施設名が含まれている場合も登録してください。

広域に設置した場合や施設が複数ある場合は、代表的な施設名としてください。

記入例：鉄道路線全体で設置した場合「□□線〇〇駅ほか7駅」など。

作品名	
作品名（漢字）	<input type="text"/>
作品名（カナ）	<input type="text"/>
作品名（英字）	<input type="text"/>
施設正式名称	
施設正式名称（漢字）	<small>作品の所在する施設/空間の正式名称</small>
施設正式名称（英字）	<input type="text"/>

作品所在地

作品が設置された都道府県、海外の場合は国名と郡または市までを記入。

・和文表記

完成年月

作品が完成した年月を入力してください。

作品所在地	
都道府県	---選択してください---
住所	<input type="text"/>
完成年月	
完成年月	---選択してください---

分類選択

空間特性による分類とデザイン特性による分類の2項目について、それぞれ選択肢からチェックしてください。

詳しくはP-11をご覧ください。

デザイン意図

デザインの概要・特徴を、簡潔にまとめてください。作品の関係者を記述しないように注意してください。

・和文表記 (200文字以内)

分類選択	
分類選択-1 *複数選択可	<input type="checkbox"/> 公共空間 <input type="checkbox"/> 商業空間 <input type="checkbox"/> 特定空間 <input type="checkbox"/> 空間設定なし
分類選択-2 *複数選択可	<input type="checkbox"/> 表示、表札 <input type="checkbox"/> 案内、誘導 <input type="checkbox"/> ユニバーサル <input type="checkbox"/> 広告、プロモーション <input type="checkbox"/> 展示 <input type="checkbox"/> 催し、祭り <input type="checkbox"/> エンターテイメント <input type="checkbox"/> 観光 <input type="checkbox"/> まちづくり <input type="checkbox"/> 都市計画 <input type="checkbox"/> 建築 <input type="checkbox"/> 照明 <input type="checkbox"/> ランドスケープ <input type="checkbox"/> ストリート・ファニチャー <input type="checkbox"/> 車両 <input type="checkbox"/> コミュニケーション・グラフィックス <input type="checkbox"/> ヴィジュアル・アイデンティティ、ブランディング <input type="checkbox"/> タイポグラフィ <input type="checkbox"/> アートワーク <input type="checkbox"/> インスタレーション <input type="checkbox"/> ウェブコンテンツ <input type="checkbox"/> 音響、音声 <input type="checkbox"/> 技術研究・開発
分類について	
デザイン意図 (コンセプト)	
<input type="text"/>	
0文字	
記入完了	

分類選択について

サインはデザイン領域が多岐に渡るため、実際に設置された場所がどんな所で、何についてデザインされたものなのかが審査資料からだけでは判断しにくい場合があります。空間設定とデザイン手法についての情報は、審査員の作品評価の手がかりとなります。

▶空間設定による分類

以下の選択肢より1つを選択してください。複合施設など空間が限定できない場合は、複数の空間を選択してください。

公共空間：公共目的のために作られた施設で、公営、民営を問わない

幼稚園 保育所 認定こども園 小学校 中学校 高等学校 高等専門学校 専修学校 図書館 美術館 博物館 鉄道駅 空港 客船ターミナル
バスターミナル 病院 診療所 郵便施設 庁舎 支所 税務署 警察署 保健所 消防署 ハローワーク 社会保険事務所 年金機構 体育館 公会堂
集会場 火葬場 展示場 など

商業空間：商業目的のために作られた施設

百貨店 マーケット 物品販売店舗 飲食店 料理店 カフェ バー 理髪店 美容院 パン屋 米屋 コンビニエンスストア 銀行 不動産屋 劇場 映画館
演芸場 自動車修理工場 ボーリング場 スケート場 スキー場 ゴルフ場 カラオケ 旅館 ホテル 一般有料駐車場 など

特定空間：限定された利用者のための施設

住宅 共同住宅 事務所 神社 寺院 教会 学習塾 教習所 老人ホーム 工場 倉庫 畜舎 養殖場 テレビ局 撮影所 車庫 卸売市場 ゴミ焼却場 など

空間設定なし：空間を特定できないもの

映像デバイス コンピュータ画面 スマートフォンアプリ カーナビゲーション 仮想空間 研究・開発 など
上記「公共・商業・特定」空間で該当しない施設及び空間設定が不明な場合はこの分類を選択してください。

▶デザイン手法による分類

該当するデザイン手法について選択してください。複数選択可です。

表示、表札

銘板 名称 室名 場所名 注意 警告 禁止など

ランドスケープ

植栽 造園 外構 公園 橋梁など

案内、誘導

信号 標識 方向表示 案内表示 地図 図解表示 矢羽根など

ストリート・ファニチャー

街灯 ベンチ バス停 シェルター ボラードなど

ユニバーサル

高齢者、障害者、外国人に対する対応など

車両

車両ラッピング、マーキングなど

広告、プロモーション

ネオンサイン 屋外広告物 交通広告 車体広告 パナー
大型ビジョン デジタルサイネージ POPなど

コミュニケーション・グラフィックス

環境グラフィック ピクトグラム

展示

展示会 展覧会 ディスプレイ エキシビションなど

ヴィジュアル・アイデンティティ、ブランディング

ロゴタイプ シンボルマーク コーポレートカラー
アプリケーション展開など

催し、祭り

イベント フェスティバル 見本市など

タイポグラフィ

オリジナル書体 文字レイアウト 筆文字 カリグラフィ

エンターテインメント

コンサート 演劇 映画 ゲーム 遊園地など

アートワーク

パブリックアート 彫刻 絵画 写真

観光

観光案内板 観光ポスター、パンフレット 法被など

インスタレーション

体験芸術 芸術装置 オブジェ

まちづくり

官民連携事業 コミュニティ形成など

インターフェース

ユーザーインターフェース プログラム

都市計画

景観計画 街路計画 情報施設計画など

ウェブコンテンツ

ウェブサイトなど

建築

ファサード スペース 外装 内装など

音響、音声

音声案内 音声誘導 音環境

照明

環境照明 演出照明など

技術研究・開発

サインに関わる研究や創意工夫、アイデアを展開させて開発した
新技術

③ 画像データの登録

1. 画像データは、原則として作品を撮影したカラー写真の画像データ、または現像した銀塩写真のスキャニングデータとします。
作品そのものがデジタルデータの場合(例としてデジタルサイネージの表示用データ)も含まれます。
2. 画像データ数に制限はありません。
3. 画像データのうち1点はコンセプト説明用として、複数の写真・図版・文章による構成を可とします。
4. コンセプト説明用以外の画像データは、それぞれ1点の写真によって構成してください。
写真説明のための図版・キャプション(簡単な説明文)を挿入することは可とします。複数の写真を含んだ場合は違反になりますので、ご注意ください。
5. 画像データの形式はJPEG(拡張子:jpgまたはjpeg)のみです。
6. 画像データの画素数制限は設けておりませんが、ファイルのサイズは1点あたり1MB以下とします。
7. 画像データのファイル名は半角英数字にしてください。
8. 画像に組写真や関係者情報の記述を認めた場合、審査資料から除外します。

コンセプト説明用画像データ 1ファイル	コンセプト説明用以外の画像データ 2ファイル目以降																	
<p>OK コンセプト説明用として、 複数の写真・図版・文章による構成</p> <table border="1"> <tr> <td>写真A</td> <td>文章</td> <td rowspan="3">複数の写真 + 文章/図版</td> </tr> <tr> <td>写真B</td> <td></td> </tr> <tr> <td>写真C</td> <td>図版</td> </tr> </table> <p>文章中に作品関係者情報を 記述しないでください</p>	写真A	文章	複数の写真 + 文章/図版	写真B		写真C	図版	<p>OK 写真1枚による構成</p> <table border="1"> <tr> <td>作品写真</td> <td>1枚の写真 + 文章</td> </tr> <tr> <td>文章</td> <td></td> </tr> </table>	作品写真	1枚の写真 + 文章	文章		<p>NG 複数の作品写真による構成</p> <table border="1"> <tr> <td>写真B</td> <td>写真A</td> <td rowspan="2">複数の写真</td> </tr> <tr> <td>写真C</td> <td></td> </tr> </table>	写真B	写真A	複数の写真	写真C	
写真A	文章	複数の写真 + 文章/図版																
写真B																		
写真C	図版																	
作品写真	1枚の写真 + 文章																	
文章																		
写真B	写真A	複数の写真																
写真C																		
	<p>OK 作品説明用の図版を 組み合わせる</p> <table border="1"> <tr> <td>図版</td> <td>作品 写真</td> <td rowspan="2">1枚の作品写真 + 図版</td> </tr> <tr> <td>文章</td> <td></td> </tr> </table> <p>図版：スケッチ、図面、模式図など</p>	図版	作品 写真	1枚の作品写真 + 図版	文章		<p>同じ写真の 別アングル</p> <table border="1"> <tr> <td>写真A 別アングル</td> <td>写真A</td> </tr> </table>	写真A 別アングル	写真A									
図版	作品 写真	1枚の作品写真 + 図版																
文章																		
写真A 別アングル	写真A																	
		<p>同じ写真の 部分拡大</p> <table border="1"> <tr> <td>写真A 部分拡大</td> <td>写真A</td> </tr> </table>	写真A 部分拡大	写真A														
写真A 部分拡大	写真A																	
	<p>OK 作品説明用の画像を 組み合わせる</p> <table border="1"> <tr> <td>説明 画像</td> <td>作品 写真</td> <td rowspan="2">1枚の作品写真 + 説明画像</td> </tr> <tr> <td>文章</td> <td></td> </tr> </table> <p>説明画像：製作過程や改修前の様子など</p>	説明 画像	作品 写真	1枚の作品写真 + 説明画像	文章		<p>NG 作品関係者情報を入れる</p> <table border="1"> <tr> <td>作品写真</td> <td>ロゴや社名</td> </tr> <tr> <td>文章</td> <td></td> </tr> </table>	作品写真	ロゴや社名	文章								
説明 画像	作品 写真	1枚の作品写真 + 説明画像																
文章																		
作品写真	ロゴや社名																	
文章																		

4 映像データの登録

1. 映像データは、原則として作品を撮影したカラー動画としてください。
作品そのものがデジタル映像の場合（例としてデジタルサイネージの表示用データ）の動画も含まれます。
2. 映像データ数に制限はありません。
3. 映像データには、音声（サウンドトラック）を含めることができます。ただし音サインなど撮影と同時に録音されたもののみを審査対象とし、映像処理段階で付加された効果音・ナレーション・音楽等は審査時には再生しません。
4. 映像データの再生時間は1点あたり60秒以内、ファイルサイズは20MB以内としてください。
5. 映像データの画素数は、横1920pixel、縦1080pixelを超えないようにしてください。
6. 映像データのコーデックはH264/AAC、データ形式はMP4（拡張子:mp4）としてください。
7. 映像データのファイル名は半角英数字にしてください。
8. 映像に関係者情報の記述を認めた場合や再生時間が60秒を超えた場合は、審査資料から除外します。

🖼️ 画像/映像の追加

	<ul style="list-style-type: none">• ファイルサイズ：1MB以内• 拡張子：.jpg• ファイル名：半角英数のみ		<ul style="list-style-type: none">• ファイルサイズ：20MB以内• 拡張子：.mp4• ファイル名：半角英数のみ• コーデック：H.264/AAC• 再生時間：60秒以内• 映像サイズ：横1920px以内 縦1080px以内
------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- ファイルは複数まとめてアップロードできます。（合計20MB以内、それ以上になる場合は複数回に分けてアップロードしてください。）
- 出版社等が著作権を所有する画像映像が含まれる場合は下記よりお知らせください。

著作権について通知する ▼

ファイルを選択 | ファイル未選択

アップロード

5 関係者の登録

関係者とは、応募対象作品のデザインまたは制作に携わった方、作品の発注者及び応募画像の撮影者が該当します。「ディレクション」、「デザイン」、「施工」、「クライアント」、「撮影」に該当する方を、必ず登録してください。前述以外の職能（役割名）で、作品に直接関わった方を登録することも可能です。関係者は最大15名（社）が登録できます。法人名のみでの登録は可能です。

「クライアント」、「施工」については法人名のみを登録してください。法人の入力欄には、支店や所属部署、役職は記入しないでください。

同じ役割で複数の担当者がある場合は、役割ごとに分けて記入してください。複数名を記入された場合は、先頭のみを受付けます。

- ・和文表記（漢字）
- ・英文表記（英字）

※応募時に関係者として登録されていない個人や法人は、受賞者として認められません。受賞後に関係者の追加や変更はできず、賞状やトロフィーの発行もできません。応募の段階で十分ご注意ください。

関係者の登録 注意

受賞後、作品集などに掲載されるクレジットです。応募受付後の追加・変更は一切できません。 [関係者について](#)

入力例

職能・役割	所属（会社名・法人名・屋号など正式名称） <small>法人格（株式会社 有限会社 合資会社 公益社団法人 一般社団法人 学校法人 など）がある場合は必ず含める</small>	担当者氏名
ディレクション（必須） <input type="checkbox"/> 法人	例：株式会社〇〇〇〇	1フォーム1名ずつ
	英語表記	英語表記
ディレクション（必須） <input type="checkbox"/> 法人	例：株式会社〇〇〇〇	1フォーム1名ずつ
	英語表記	英語表記
ディレクション（必須） <input type="checkbox"/> 法人	例：株式会社〇〇〇〇	1フォーム1名ずつ
	英語表記	英語表記
ディレクション（必須） <input type="checkbox"/> 法人	例：株式会社〇〇〇〇	1フォーム1名ずつ
	英語表記	英語表記
ディレクション（必須） <input type="checkbox"/> 法人	例：株式会社〇〇〇〇	1フォーム1名ずつ
	英語表記	英語表記

− 入力フォームを1名分削除 + 入力フォームを1名分追加

登録

⑥ 登録の確認

作品一覧をクリックし、各作品の詳細ページで応募登録内容を確認してください。

詳細ページ右上の[応募票の印刷]をクリックすると印刷ができます。

支払手続前であれば、何度でも変更ができます。画像・映像の差替も可能です。



7 支払・完了

登録完了後は、[応募者ページ]へ戻り、[支払手続]に進んでください。複数の作品に応募する場合は、まとめて支払いができます。支払手続済みの作品は、修正・編集が一切できません。また支払手続完了後の返金は一切できませんので、ご注意ください。

支払方法

支払方法はクレジットカード払い (Stripe決済システム) または銀行振込のいずれかになります。[支払手続]で選択できます。

海外の銀行からの送金は受け付けておりません。

クレジットカード払いを選択してください。

¥ 支払手続

内訳

作品名	金額
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XX,000 円
合計	XX,000 円

支払い方法

stripe クレジットカード

銀行振込

Stripeを利用してクレジットカード決済を行います。

請求明細を応募者宛にメールで送信します。期日までにお振り込みください。振込手数料はご負担ください。

クレジットカードで支払う

銀行振込で支払う

クレジットカード払いについて

クレジットカード払いを選択した上で、決済画面にてカード情報等を入力してください。

クレジット決済が完了すると、Stripe決済システムよりインボイス対応形式の領収書が発行されます。

必ずダウンロードし保管してください。

作品名XXXXXXXXXXXX

¥XX,000

Apple Pay

メールアドレス

カード情報

1234 1234 1234 1234

MM / YY (年) CVC

カード所有者名

国または地域

日本

安全なワンクリックチェックアウトに使用する情報を保存する

公益社団法人日本サインデザイン協会 やその他の多数のサイトで、支払いをスピードアップします。

支払う

銀行振込について

銀行振込を選択すると、エントリーサイトから自動で「応募料のお知らせメール」をお送りします。期日までにお振り込みください。

・応募期間終了後に、インボイス対応形式の領収書を応募者宛にE-mailにて順次お送りします。個別の領収書の催促はご遠慮ください。

・領収書の郵送はいたしません。

みほん

公益社団法人日本サインデザイン協会からの領収書

領収書番号1379-2796

登録番号 : T4010005018487

お支払い金額 ¥11,000

お支払い日 2024/04/20 10:30

お支払い方法 0000 - 0000

サマリー

第58回日本サインデザイン賞

XXXXXXXXXXXX計画	¥10,000
小計	¥10,000
消費税(10%)	¥1,000
ご請求金額	¥11,000

[要綱・要領]

日本サインデザイン賞実施要綱

この要綱は、日本サインデザイン賞事業の概要をまとめたものです。

この要綱に基づき、以下の要領を定めています。

- ・日本サインデザイン賞応募要領
- ・日本サインデザイン賞審査要領

1) 日本サインデザイン賞とは

公益社団法人日本サインデザイン協会(以下SDA)が主催する日本サインデザイン賞(通称SDA賞)は、サインデザインの普及及び啓発を図ることを目的として、1966年以来続けられてきた日本で唯一のサインデザインを対象とした顕彰事業です。

2) 日本サインデザイン賞の構成

SDA賞は、全応募作品の中から一次審査、二次審査、最終審査を経て以下の賞を授与します。

日本サインデザイン大賞・経済産業大臣賞 1作品

全応募作品の中から、最も秀でたデザインと認めるもの。

最終審査会にて決定。

日本サインデザイン金賞:4作品

全応募作品の中から、最も優れたデザインと認めるもの。

最終審査会にて決定。

日本サインデザイン銀賞:15作品

全応募作品の中から、特に優れたデザインと認めるもの。

最終審査会にて決定。

日本サインデザイン銅賞:30作品

全応募作品の中から、優れたデザインと認めるもの。

最終審査会にて決定。

日本サインデザイン賞入選:100作品

全応募作品の中から、良好なデザインと認めるもの。

一次審査会にて決定。

日本サインデザイン招待審査員賞:招待審査員の推薦による各1作品

すべての入賞作品の中から、招待審査員が選出するもの。

最終審査会にて決定。

入賞(大賞・金賞・銀賞・銅賞)及び入選の作品数については最終審査会で決定します。

日本サインデザイン特別賞・公益財団法人日本デザイン振興会会長賞:2点以内

SDA会員からの推薦により、主にサインデザインの普及・啓蒙に特別の

功績のあった事業または活動に対して団体または個人を賞するもの。

特別賞選考会にて決定。

地区デザイン賞:各地区5作品以内

各地区のサインデザインの啓蒙を目的として授与されるもの。

日本サインデザイン賞とは別に各地区のSDA会員による地区審査会にて決定。

3) 日本サインデザイン賞への応募

応募の受付期間は、2025年4月1日から5月30日までとします。詳細は、「日本サインデザイン賞応募要領」(以下SDA賞応募要領)に定めます。

4) 審査

審査は、提出された作品の分類、デザイン意図、画像(映像)を審査資料とし、応募者・関係者を秘匿した状態で行います。

・一次審査

ウェブ審査システムを使用して行います。全応募作品の中から上位150

作品を一次審査通過作品として選出します。

・二次審査

審査員を招集した審査会を開催します。一次審査通過150作品から入賞

候補50作品を選出します。

・最終審査

審査員を招集した会場での審査会を開催します。最終審査では、入賞候補50作品の中から日本サインデザイン大賞・経済産業大臣賞、日本サインデザイン金賞、日本サインデザイン銀賞、日本サインデザイン銅賞を決定します。各賞の作品数については最終審査で決定します。

また招待審査員の推薦による招待審査員賞を各1作品選出します。

・特別賞選考

特別賞として推薦された作品等の資料、推薦者による説明及び質疑応答を経て、合議によって2点以内を決定します。

・地区デザイン賞審査

最終審査後に地区代表幹事によって招集され、地区会員の合議により各地区に所在する作品から5作品以内を地区デザイン賞として選出します。地区の区分は下記の通りとします。

北海道地区:北海道

東北地区:青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

関東地区:茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県

中部地区:富山県、石川県、福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県

関西地区:滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

中国地区:鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

四国地区:徳島県、香川県、愛媛県、高知県

九州地区:福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県

沖縄地区:沖縄県

5) 審査員

主催者は、日本サインデザイン賞の趣旨を理解し豊富なデザイン経験等を有するSDA会員並びにSDAが委嘱する招待審査員からなる審査委員会を設置し、審査を託します。審査会は、一次審査、二次審査、最終審査それぞれで審査員を構成し、最終審査会はすべての賞を確定する権限を有します。審査会は、審査員長であるSDA会長が統括します。審査員はP-03に記載します。

6) 審査基準

・社会性:景観や環境との調和、持続性など社会的意義や効果について評価する。

・情報性:発信者の意図が伝わり、適切なコミュニケーションが図れているかを評価する。

・先進性:発想、製作、プロセス等においてこれまでにない新しい取り組みを評価する。

・審美性:造形、素材、表現において作品の美しさを評価する。

上記4項目に加えて、応募作品には安全性への配慮を求められます。

7) 審査日程

・一次審査:2025(令和7)年6月6日(金)から6月15日(日)

・二次審査:2025(令和7)年6月20日(金)

・最終審査:2025(令和7)年7月5日(土)

・地区賞審査:2025(令和7)7月11日(金)～7月21日(月)

8) 審査結果の公式発表

主催者は受賞者に通知すると共に、SDAウェブサイトで審査結果を発表します。受賞者は、この発表日をもって受賞結果を公表することができます。

9) 日本サインデザイン賞の表彰

日本サインデザイン大賞・経済産業大臣賞には、経済産業省より賞状とトロフィーが授与されます。

主催者は日本サインデザイン金賞・銀賞・招待審査員賞には賞状とトロフィーを授与し、銅賞・入選・地区デザイン賞には賞状を授与します。

日本サインデザイン特別賞は、公益財団法人日本デザイン振興会より賞状が授与されます。

10) 『第59回日本サインデザイン賞作品集』(以下『作品集』)の発行
SDAの編集による『作品集』を発行します。受賞作品の代表者並びにクライアントに各1部贈呈します。

11) 『年鑑日本の空間デザイン2026 ディスプレイ・サイン・商環境』
(以下『年鑑』)の刊行

『年鑑』が、2025年12月(予定)に発行されます。『年鑑』の編集は、株式会社六耀社及び空間デザイン機構の組織団体であるSDA、一般社団法人日本空間デザイン協会(DSA)、一般社団法人日本商環境デザイン協会(JCD)からなる年鑑刊行委員会があたり、発行は株式会社六耀社が行います。

12) 日本サインデザイン賞の広報活動

主催者は受賞作品を通じて、サインデザインの普及及び啓発を図るために広報活動を展開します。デザインに関する関連団体と協調し、優れたデザインを広く国内外に発信する活動を行います。

13) 日本サインデザイン賞にかかる費用

応募者は「SDA賞応募要領」に定める費用を負担します。
賞状及びトロフィーは、受賞関係者に限り有償にて追加発行が可能です。

14) 情報の公開

主催者は応募者から提供された情報のうち、あらかじめ指定する情報をSDA賞の広報のために使用することがあります。
主催者と審査委員会は、受賞に至らなかった対象を含め、個別の審査内容に関する情報の開示請求には対応しません。詳細は、「SDA賞応募要領」に定めます。

15) 応募作品情報の守秘義務

主催者、審査委員及び審査会等業務の関係者は、応募作品についての非公開情報や審査等を通じて得られた秘密情報について守秘義務を負います。

16) 応募者の責任に帰する事項

応募された全ての資料の著作権、画像使用权、出版権、工業所有権については応募者が責任を持って処遇・管理してください。なお、これらの許諾を得られない場合、受賞作品であってもSDAウェブサイト、受賞作品集、年鑑に掲載することができません。「関係者」として撮影者の登録がない場合は、著作者の氏名表示を不要とするものとみなします。また、写真使用料については、応募者と撮影者との間で解決した上で応募してください。
日本サインデザイン賞の応募作品に関する意匠権等の知的財産権、品質、性能、安全性等の要件及びその販売、施工等に関して生じた問題の責任については、応募者が負うものとし、主催者はその一切の責任を負いません。
日本サインデザイン賞への応募により、応募者、受賞者あるいはその他の第三者の間で生じた紛争については、主催者はその一切の責任を負いません。

17) 応募の取り下げ及び失格

応募登録後、審査費用が支払われない場合は、応募の取り下げとみなします。
また、応募者が「応募登録ガイド」並びに「SDA賞応募要領」に定める事項に違反した場合、主催者はその応募を失格とします。

18) 受賞の取り消し

受賞者が、受賞発表後に本要綱並びに「SDA賞応募要領」に定める事項に

違反した場合、主催者はその受賞を取り消します。また、受賞作品について、下記のような事実が判明した場合、主催者はその受賞を取り消すことができます。

- ・受賞作品が、その機能的欠陥等から社会的に著しい損害を与えた場合。
- ・受賞作品が、他者の意匠権等の知的財産権を侵害していると公に認められた場合。
- ・受賞者及び受賞作品に暴力団等の反社会的勢力に関係する個人、法人及び団体等が関連している場合。

19) 主催及び後援

主催:公益社団法人日本サインデザイン協会

後援(予定):経済産業省/公益財団法人日本デザイン振興会/日本商工会議所/日本経済新聞社/一般社団法人日本屋外広告業団体連合会/一般社団法人日本空間デザイン協会/一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会/一般社団法人日本商環境デザイン協会/公益社団法人日本サイン協会/公益社団法人商業施設技術団体連合会/一般社団法人日本プロモーション・マーケティング協会/公益社団法人全日本広告連盟/公益社団法人日本アドバイザーズ協会/公益社団法人日本グラフィックデザイン協会/公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会/特定非営利活動法人日本タイポグラフィ協会(順不同)

20) 個人情報保護に対する取り組み

SDAは個人情報取扱事業者としての義務を守り、運営に係る全ての個人情報、以下のとおり取り扱います。

- ・個人情報の提供を受ける場合には、本人にその個人情報の利用目的をお知らせし、同意をいただきます。また、提供を受けた個人情報の利用に際しては、本人から同意をいただいた利用目的の範囲内で適切に行います。
- ・本人から同意をいただいた場合および法令に基づき司法機関、行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合を除き、ご提供いただいた個人情報を第三者に預託、提供することはいたしません。
- ・内容が事実でないことを理由として本人の個人情報の削除、変更、修正の連絡があった場合は、遅滞なく必要な調査を行い、その結果に基づき、合理的な期間内に情報を修正し、維持・改善・管理します。
- ・個人情報の取り扱いに十分注意を払い、役員・運営委員、委員会や地区事業などの会務を担当する正会員および事務職員に徹底します。

21) 個人情報の利用目的

- ・日本サインデザイン賞応募登録者の方の個人情報について登録内容の確認
- ・応募された作品および、応募料決済、審査結果に関しての連絡
- ・贈賞式の案内
- ・SDA事業に関するEメールの送信
- ・その他SDA賞運営に関する必要な範囲での利用

2025(令和7)年4月1日

※2025年度の実施日程等に関しては、今後の社会情勢によって変更になる場合があります。

[要綱・要領]

日本サインデザイン賞応募要領

この要領は、第59回日本サインデザイン賞(通称SDA賞)の応募にあたり必要な事項を定めたもので、以下の内容から構成されます。

1. 応募対象作品、応募者、関係者
2. 応募方法
3. 日本サインデザイン賞に関わる費用
4. 応募の手続き
5. 審査開始から結果発表まで
6. 応募に関する注意事項

1. 応募対象作品、応募者、作品代表者と関係者

1-1. 応募対象作品

応募対象作品は、国内外問わず、2024(令和6)年5月1日から2025(令和7)年4月30日までの1年間に完成したサインとします。

1-2. 応募者

応募の資格を有する応募者は、応募対象作品のデザインまたは制作に携わった方とします。ただしデザインまたは制作に携わった方の所属する法人が定める事務手続き上の代理者も応募者として登録できます。

1-3. 作品代表者と関係者

受賞した場合、作品代表者が受賞者になります。作品のデザイン制作に携わった代表者1名を登録してください。

関係者とは、応募対象作品のデザインまたは制作に携わった方、作品の発注者及び応募画像の撮影者が該当します。「ディレクション」、「デザイン」、「クライアント」、「施工」、「撮影」に該当する方を、必ず登録してください。前述以外の職能(役割名)を登録することも可能です。関係者は最大15名(社)が登録できます。

1-4. 応募者の義務

日本サインデザイン賞への応募にあたり、応募者は以下の義務を負うものとし、これらの義務が実行されなかった場合、主催者は当該応募作品の応募を失格とします。

- ・主催者が希望する審査資料の提出
- ・応募対象が受賞した場合の公開用情報の提供及び『作品集』・『年鑑』への掲載
- ・「3.日本サインデザイン賞に関わる費用」に記載する審査料等費用の「4.応募等の手続き」に記載する期日までの支払い

2. 応募方法

応募者は、主催者が用意するウェブサイト(以下「エントリーサイト」)を通じて定められた期間内に応募対象作品や関係者の登録、審査用画像データ等のアップロード等所定の手続きを行なってください。

なお主催者は、日本の法律や公序良俗に反するなど、SDA賞の趣旨や目的に合致しないと判断するものについては、応募を受理しない場合があります。

3. 日本サインデザイン賞に関わる費用

日本サインデザイン賞に関わる費用は、以下の通り定めます。価格は全て税込みです。振込手数料等の支払いにかかる別途費用は応募者がこれを負担します。

3-1. 応募料

応募料は、1作品につき¥11,000(本体¥10,000+消費税¥1,000)です。応募料にはデザイン意図(コンセプト)と2点の画像データの審査料を含みます。3点以上の画像データを提出する場合、1点につき¥1,650(本体¥1,500+消費税¥150)の追加審査料が加算されます。

映像データを提出する場合、1点につき¥16,500(本体¥15,000+消費税¥1,500)の追加審査料が加算されます。すべての応募料、審査料には消費

税10%がかかります。

3-2. 賞状の追加作成

受賞作品の作品代表者とクライアントのおのにおに賞状を授与いたします。応募時に関係者として登録された方々に限り追加の賞状のお申込が可能です。追加作成費用は1枚につき¥4,400(本体¥4,000+消費税¥400)です。申込方法については受賞作品の応募者にご連絡します。

3-3. トロフィーの追加作成

金賞・銀賞・招待審査員賞の各受賞作品には作品代表者にトロフィーを授与いたします。応募時に関係者として登録された方に限り追加のトロフィーのお申込が可能です。追加作成費用は一基につき¥33,000(本体¥30,000+消費税¥3,000)、授与と同じ表記の場合は一基につき¥27,500(本体¥25,000+消費税¥2,500)です。申込方法については受賞作品の応募者にご連絡します。

大賞・経済産業大臣賞のトロフィーの追加作成はできません。

3-4. 贈賞式の参加

受賞者には贈賞式のご案内を送付します。内容に従って出欠のご連絡をお願いします。懇親会が開催される場合の参加費用については、実施のご案内と共にお知らせします。

3-5. 『第59回日本サインデザイン賞作品集』

受賞作品の作品代表者とクライアントのおのにおにSDA発行の『作品集』を贈呈します。追加のご購入が可能です。申込方法・価格については応募者にご連絡するほか、SDAウェブサイト等でご案内します。

3-6. 『年鑑日本の空間デザイン2026 ディスプレイ・サイン・商環境』六耀社SDAでは特別価格にて販売しております。申込方法・価格については応募者にご連絡するほか、SDAウェブサイト等でご案内します。

4. 応募の手続き

日本サインデザイン賞への応募にあたり、応募者は以下の手続きを行います。

4-1. 応募段階での手続き

応募者及び応募作品に関する情報の登録

応募者は、応募作品についての審査用情報をエントリーサイトで登録します。応募期間は2025(令和7)年4月1日から2025(令和7)年5月30日までとします。上記期間内にエントリーサイト上で情報の登録を行い、応募を確定します。

4-2. 応募費用の支払

応募費用はエントリーサイト上の[支払手続]から、クレジットカード払いまたは銀行振込でお支払いください。支払が完了した時点で応募作品が正式に登録されたこととなります。支払期限は、6月2日(月)とします。

5. 審査開始から結果発表まで

すべての審査は応募者、作品制作関係者を秘匿した状態で行われます。応募登録された作品名・画像(映像)・作品の分類・デザイン意図が審査員に公開されます。

5-1. 一次審査

一次審査は、6月6日(金)から6月15日(日)までの期間にウェブ審査システムを使用して行われます。

全応募作品の中から上位150作品を一次審査通過作品として選出します。

5-2. 一次審査結果の通知

主催者は、一次審査通過作品の応募者に一次審査通過と共に「関係者情報」の訂正期間と訂正方法を通知します。

「関係者情報」は、公開情報となる結果発表資料、賞状やトロフィーの表記、作品集や年鑑掲載の表記内容として反映されるため、登録内容の最終確認や誤字脱字を訂正していただくために設けております。訂正期間を過ぎてからの変更には一切応じられませんのでご注意ください。

5-3.二次審査

二次審査は、6月20日(金)に審査員を招集した審査会を開催します。一次審査通過150作品から入賞候補50作品を選出します。

5-4.最終審査

最終審査は、7月5日(土)に公開審査会として開催します。二次審査で選出された入賞候補50作品について、大賞・金賞・銀賞・銅賞の選定のための討議を行い、合議によって各賞を確定します。

5-5. 最終審査結果の通知

主催者は、入賞作品の応募者に通知します。

5-6. 審査結果の公式発表

主催者は、最終審査の結果を経済産業大臣に所定の手続で報告し、受理された後に全応募者に対してご連絡します。同時にSDAウェブサイトで開催します。発表時期は9月初旬の予定です。

5-7.『年鑑日本の空間デザイン2026 ディスプレイ・サイン・商環境』(以下『年鑑』)編集用の情報提供

主催者は六耀社に『年鑑』の編集協力のため審査結果と共に作品情報として「作品名・所在地・完成年月・関係者・デザイン意図・応募画像」を提供します。六耀社は入賞者に、高解像度版画像データの請求や掲載情報の確認をしますのでご協力ください。

5-8. 受賞後の手続き

主催者は受賞者並びに全応募者に結果発表資料のほか、以下のご案内を順次送付します。

- ・賞状の追加申込(対象:入賞、招待審査員賞、入選、地区賞の受賞者)
- ・トロフィーの追加申込(対象:金賞、銀賞、招待審査員賞の受賞者)
- ・贈賞式の開催案内(対象:入賞者)
- ・『作品集』、『年鑑』の購入(対象:全応募者)

受賞者は結果発表後、自社のホームページ等での公表・公開が可能です。公開資料等で、SDA並びに日本サインデザイン賞のロゴデータをご使用希望の場合は、SDA事務局にお問合せください。

6. 応募に関する注意事項

6-1. 同一作品の複数応募

原則として、1作品1応募としますが、視点を変えた複数応募(例:「建築環境」と「サインシステム」など)は可とします。

特に作品代表者が異なる場合は、以下をご調整の上応募してください。

- ・作品名は異なる視点での応募とわかるように違いを付けること
- ・それぞれのデザイン意図で応募すること
- ・視点の違いがわかる異なるモチーフ、異なるアングルの写真で応募すること。

また、同一作品がそれぞれ受賞した場合、SDAウェブサイト、『作品集』、『年鑑』に掲載される写真については編集者がセレクトすることをご了承ください。

6-2. 審査用画像、映像

応募する作品画像データ、映像データは、常識的な範囲での補正(露光や、色温度の微調整、トリミング等)と、応募規定ファイルサイズに合わせるための画素数や圧縮率の変更を除き、一切の加工を行ってはなりません。デ

ジタル加工などを施して、実際の作品と異なる画像・映像による「虚偽」の応募が判明した場合は、審査終了後であっても失格処分とします。

審査用画像、映像、デザイン意図の中には、応募作品に含まれる場合を除き、応募者名・作品制作関係者名は、これらを想起させるロゴマーク等を含み、一切表示しないでください。違反した作品は、失格処分とする場合があります。

6-3. 失格と判断された応募対象の扱い

応募作品について、前項の違反並びに盗作などの事実が確認された場合は失格となります。失格理由については通知せず、審査料等の返却は行いません。

6-4. 応募の取り下げ

応募登録後、審査費用が支払われない場合は、応募を取り下げとみなし審査はいたしません。また支払い後、応募者からのお申し出による取り下げの場合は、これを受理し、審査料等の返却は行いません。

6-5. 権利の帰属

応募者が登録した作品に関する情報の著作権は応募者に帰属します。ただし、以下の項目で応募のデータを使用する権利をSDA、空間デザイン機構年鑑刊行委員会、六耀社に付与していただきます。

- ・SDAが実施する賞の審査及び受賞内容の告知、広報等を含めた活動
- ・SDAが編集、発行する『作品集』およびその他の刊行物への掲載
- ・SDAの広報およびウェブサイトへの掲載
- ・SDAが主催、関与する展示会やセミナーでの発表
- ・六耀社が発行する『年鑑』への掲載
- ・上記の実施、活動のためのデジタルデータ記憶媒体へ収録

6-6. 情報の公開

主催者は、応募者が登録した作品に関する情報について、以下により情報公開を行います。

- ・SDAウェブサイト
- ・SDA賞エントリーサイト
- ・SDAが利用するSNS

2025(令和7)年4月1日

※2025年度の実施日程等に関しては、今後の社会情勢によって変更になる場合があります。

[要綱・要領]

日本サインデザイン賞審査要領

この要領は、日本サインデザイン賞(以下SDA賞)の審査にあたり必要とされる事項を定めたもので、以下の内容から構成されます。

1. 審査会の設置
2. 審査会の役割
3. 審査員の委嘱
4. 審査員の規範
5. 審査基準

1. 審査会の設置

主催者は、日本サインデザイン賞の開催要綱に基づき厳正な審査を行い、日本サインデザイン賞、日本サインデザイン特別賞を決定するため、審査会を設置します。それぞれの審査会は以下のような審査員で構成されます。審査員長はすべての審査会を統括し、審査員長に事故がある場合は副審査員長がこれを代行します。

一次審査会：審査員長が招集し、審査は審査員長、副審査員長、SDA審査員、地区審査員で構成。

二次審査会：二次審査会：審査員長が招集し、審査は審査員長、副審査員長、SDA審査員で構成。

最終審査会：審査員長が招集し、審査は審査員長、副審査員長、SDA審査員、招待審査員で構成。

特別賞選考会：審査員長が招集し、審査は財団法人日本デザイン振興会理事長、審査員長、副審査員長、SDA審査員で構成。

地区賞審査会：SDA各地区の代表幹事が招集し、地区審査員、代表幹事が指名する地区会員で構成。

2. 審査会の役割

一次審査会

すべての応募作品について審査員長の示す審査基準に従って審査を行います。定められた期間内にウェブ審査を行い5段階での採点及び失格の判定を行います。全応募作品の中から上位150作品を一次審査通過作品として選出します。

二次審査会

一次審査通過150作品から審査員長の示す審査基準に従って審査を行います。合議によって入賞候補50作品を選出します。

最終審査会

二次審査で選出された入賞候補50作品の中から、審査員長の示す審査基準に従って審査を行います。5段階での採点の後、大賞・金賞・銀賞・銅賞の選定のための討議を行い、合議によって確定します。各賞の数は、大賞1作品、金賞4作品、銀賞15作品、銅賞30作品を目安とし、最終審査で決定します。合議による確定が難しい場合は、審査員長がこれを決定します。招待審査員は招待審査員賞を選定します。

特別賞選考会

特別賞として推薦された作品等の資料に基づき、合議によって2点以内を決定します。

地区賞審査会

地区賞審査は二次審査後に地区代表幹事によって招集され、地区会員の合議により各地区に所在する作品から5作品以内を地区デザイン賞として選出します。

3. 審査員の委嘱

以下の審査員が、審査員長によって委嘱されます。

- ・SDA審査員：サインデザインについての豊富な経験と知見があり、公正かつ的確な判断力を有すると認められたSDA会員
- ・招待審査員：SDA賞の趣旨を理解し、専門分野におけるデザイン経験や社会への影響力が優れていると認められた有識者
- ・地区審査員：SDA各地区（北海道・東北・関東・中部・関西・中国・四国・九州・沖縄）の代表幹事（理事）ならびに各地区代表幹事が選出した地区会員

委嘱期間は、2025（令和7）年4月1日から2025（令和7）年12月31日までとします。

4. 審査員の規範

審査員自身が関与した対象の審査

審査員長を含むすべての審査員は、審査員自身がデザインまたはコンサルティングした審査対象の審査に際し、関連情報の提供を含め、当該対象の審査に関わることはできません。採点においては棄権とし、合議には加わることができません。

審査情報に関する守秘義務

審査員長を含むすべての審査員は、審査開始以前に主催者に守秘義務に関わる誓約書を提出します。審査対象に関わる機密情報、審査経緯等審査を通じて知り得た秘密情報を第三者に漏らすことは、一切禁じられています。

特別賞の推薦

SDA審査員、地区審査員は特別賞の候補について、自ら推薦並びに候補作品についての推挙を行うことができます。

5. 審査基準

次の審査基準が定められています。

- ・社会性：景観や環境との調和、持続性など社会的意義や効果について評価する。
 - ・情報性：発信者の意図が伝わり、適切なコミュニケーションが図れているかを評価する。
 - ・先進性：発想、製作、プロセス等においてこれまでになく新しい取り組みを評価する。
 - ・審美性：造形、素材、表現において作品の美しさを評価する。
- 上記4項目に加えて、応募作品には安全性への配慮が求められます。

2025（令和7）年4月1日

※ 2025年度の実施日程等に関しては、今後の社会情勢によって変更になる場合があります。

日本サインデザイン賞についてのお問合せ先

公益社団法人日本サインデザイン協会

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町 2-9 富士セルビル 3F

Email : info@sda-award.org

<https://sda-award.org/contact>

2025 年 4 月 1 日発行